

2020 年 3 月 24 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

弊社投資信託の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と弊社投資信託の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

弊社投資信託への影響

ファンド名	2020 年 3 月 23 日 基準価額(円)	2020 年 3 月 24 日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース	2,052	1,916	▲136	▲6.63
米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	2,652	2,454	▲198	▲7.47
豪州高配当株ソインαファンド(毎月分配型)	1,174	1,101	▲73	▲6.22

(騰落率は小数点第 3 位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020 年 3 月 19 日	2020 年 3 月 23 日	騰落率 (%)
iシェアーズ 米国不動産 ETF(米ドル建て)	63.71	57.84	▲9.21
S&P/ASX 200 Index	4,782.94	4,546.04	▲4.95

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3 月 19 日と 3 月 23 日を比較しています。

	2020 年 3 月 19 日	2020 年 3 月 23 日	騰落率 (%)
米ドル(対円レート)	110.06	111.35	1.18
豪ドル(対円レート)	64.54	64.09	▲0.69

(小数点第 3 位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3 月 19 日と 3 月 23 日を比較しています。
 為替レートはWMロイター社が発表するロンドン時間午後 4 時のレート、単位は円です。

出所:スタンダード&プアーズ、ブルームバーグ

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

* iShares®(i シェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース/円ヘッジ・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

◆ 足許の市場動向

先週末3月20日の世界の株式市場では、ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁が量的緩和を必要な規模と期間で行う用意があると表明したことにより、欧州で株式市場が値を戻す展開となった一方、米国ではニューヨーク州をはじめ複数の州で全ての勤労者が原則自宅勤務を命じられたことから、事態の深刻さが意識され市場心理が悪化したため、株式市場が大幅に下落しました。FRB(米連邦準備制度理事会)から発表された無制限のQE(量的緩和)に対し市場の反応が限定的なものとなる中、22日に米上院議会で新型コロナウイルスの感染拡大から被る経済的影響に対処するための景気対策法案が民主党から合意を得られず、週明けの23日においても与野党の考え方にすれ違いが続いたことで協議が遅れて政策実行に時間を要するとの懸念が拡大したことから、世界の株式市場はリートを含め大幅に下落しました。

このような市況の下、ファンドの基準価額は前営業日比5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大に終息の目途が立たず、それに伴って世界経済が悪影響を被ることが金融市場の不安材料となっています。世界的な生産活動や消費の停滞が懸念される中、投資家がリスク回避姿勢を強めており、金融市場では当面変動性の高い展開が続くと想定されます。しかしながら、各国では感染拡大の影響を受ける企業の救済やサプライチェーンの見直しといった政策が発表されているほか、家計の救済策も検討されており、中央銀行も金融面での支援を表明しています。更には、各中央銀行が金融市場の安定に向けて協調姿勢を示しており、打ち出される政策が企業の資金の流れを円滑化させ、多少の時間を要したとしても金融市場の安定化につながっていくものと期待されます。感染の拡大が実体経済に及ぼす影響や政策の効果を見極めながら各国が適切な対策を続けることで、投資家心理も落ち着きを取り戻すと見込まれます。また、各国の感染拡大の防止への取り組みによって新型コロナウイルスの感染拡大に終息の目途が立つことで、健全さを取り戻した市場では割安となった株式やリートなどを中心に価格が回復に向かうとみています。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の1.00%** または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年2.035%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

* 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。